

事業名	重点目標	分野別の目標	4 1日3食バランスのとれた食生活の推進
さいたま市食生活改善推進員協議会	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに健康づくりの学習をし、食を通して地域において幼児から高齢者まで、幅広い年齢層に対して食育活動を推進する			
事業の対象者		単年度事業・継続事業	
食生活改善推進員(ヘルスマイト)及び年齢を問わない市民		継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
埼玉県・さいたま市保健所・各区保健センター・さいたま市防災課・日本食生活協会・各公民館			
取組の内容			
<p>1、10区合同研修会、支部リーダー研修会、各区会員研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギーについての講演会(1月)</li> <li>・「始めよう！わが家の防災対策」講演会(7月予定を分散して9月から11月実施)</li> <li>・栄養士による「生活習慣病予防の食事」についての講義指導(10月)</li> </ul> <p>リーダーからの伝達により、各区会員はレシピの提供を受け、各自自宅で実習しそれを友人や地域の人々に広めた。また、写真による記録をデーターとして残したところもある</p> <p>2、埼玉县委託事業…米利用推進事業(各家庭で実習したものを持ち寄り、盛り付けて講評するなど工夫して行った)</p> <p>3、保健センター事業への協力…親子食育講座(8月4区で実施予定)中止、親子クッキング「めがせ朝食マスター」(1月)及び北区発信！健康クイズラリー(2月)は実施</p> <p>4、食育推進事業…3か所(1月)のみ実施、内容は生活習慣病予防の食事について</p> <p>5、各地域…1月から2月にかけては高齢者ふれあい会食、男性料理教室、味噌作りなどが実施できた</p>			
新型コロナウイルス感染症の影響			
3月から7月までの計画は、中止または限られた人数での実施となり、例年行っている多くの活動が中止となった。調理実習ができず、講義のみで終わりにしなければならなかったことが大きな影響であった。			
取組の成果			
<p>コロナ禍において、調理実習ができないという大きな不都合はあったが、密を避け二部制にするなどして感染予防を徹底し、会員への伝達や、地域の人々とのふれあい、健康づくりに役立つ情報を提供することができた。一ヶ所に集まっての調理実習ができなくとも、各自が家で実習したものを写真に撮り持ち寄っての意見交換などは新しい発見で、今後に生かしていけることと感じた。</p>			

<p>事業名</p>	<p>重点目標</p>	<p>2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進</p>
<p>(1)生活習慣改善・定着プロジェクト (2)会員事業所向け健康診断等の実施 (3)メンタルヘルス・マネジメント検定試験の実施 (4)冊子「新型コロナウイルスへの備え」の作成・配布</p>	<p>I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得</p>	<p>4 1日3食バランスのとれた食生活の推進 5 積極的な身体活動と運動習慣の形成 6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消</p>
<p>事業の目標</p>	<p>II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり</p>	<p>分野別の目標</p>
<p>(1)①減塩・適塩の重要性を周知する、②最適な踵高に自動調整できる義足を実現する (2)会員事業所従業員等の健康増進に寄与する (3)働く人たちの心の不調の未然防止と活力ある職場づくりへの貢献を目指す (4)事業者の感染症対策に貢献する</p>		
<p>事業の対象者</p>	<p>単年度事業・継続事業</p>	
<p>市民、会員事業所および従業員</p>	<p>継続事業</p>	
<p>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</p>		
<p>(1)さいたま市保健福祉局、(一社)適塩・血圧対策推進協会、人間総合科学大学、会員事業所 (2)浦和医師会、大宮シティクリニック、レインボークリニック、川口総合病院 (3)大阪商工会議所、日本商工会議所</p>		
<p>取組の内容</p>		
<p><b>(1)生活習慣改善・定着プロジェクト</b>  <b>①「ナト・カリ調味料」を使用した共同商品開発</b>          ・会員事業所4店舗と人間総合科学大学の共同により、ナト・カリ調味料を使用した商品等を期間限定で販売した          ・あわせて「1日8,000歩、塩分摂取8g」を普及啓発する筆記具を作成、配布した(写真上)  <b>②その他</b>          ・義肢足部の開発:会員事業所と人間総合科学大学をチームとした製品開発事業で、継続中である</p> <p><b>(2)会員事業所向け健康診断等の実施</b>          ・一般定期健康診断、生活習慣病検診、人間ドック、PET検診を当会議所指定機関で受診できる</p> <p><b>(3)メンタルヘルス・マネジメント検定試験の実施</b>          ・本試験は職場内の役割に応じて必要なメンタルヘルスケアに関する知識等を習得していただくものである          ・毎年度、3月と11月に試験を実施している</p> <p><b>(4)冊子「新型コロナウイルスへの備え」の作成・配布(写真下:単年度事業の見込)</b>          ・各事業所のコロナウイルス感染症対策になる業種別のマニュアルを作成、配布した</p>		
<p>新型コロナウイルス感染症の影響</p>		
<p>(1)当初実施計画からの遅延、共同商品開発に伴う対面会議の中止、会議のオンライン化への移行 (2)(3)3密回避策の実施(例:試験会場の定員縮小など)、感染症対策をした上での事業実施 (4)菌に敏感になる方を配慮して冊子にSIAAマーク付抗菌加工を実施</p>		
<p>取組の成果</p>		
<p><b>(1)生活習慣改善・定着プロジェクト</b>          ・本事業の実施により会員事業所に新たな来店動機を創出できた          ・期間限定終了後もナト・カリ調味料を商品に活用いただいている店舗もある</p> <p><b>(2)会員向け健康診断等の実施(数値は元年度事業のもの、カッコ内は30年度数値との比較)</b>          ・健康診断は288事業所(+6事業所)、1,549名(▲221名)、PET検診は27(+5事業所)、54名(+19名)が受診した</p> <p><b>(3)メンタルヘルス・マネジメント検定試験の実施(カッコ内は元年度数値との比較)</b>          ・令和2年3月試験は感染症の影響で中止、同年11月実施試験は全体申込者数が1,414名(▲246名)であった</p> <p><b>(4)小冊子「新型コロナウイルスへの備え」の作成・配布</b>          ・会員事業所からは概ね好評である。この冊子の作り方について県外会議所より作成方法について問合せが入った。</p>		

事業名	重点目標	分野別の目標	1 がんの予防と早期発見の推進
協会けんぽ埼玉支部と自治体の合同集団健(検)診	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進
事業の目標			
特定健診と各種がん検診を同時に実施し、各健(検)診受診率を向上させる。			
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
協会けんぽ加入者のうち、特定健診対象の被扶養者(40歳以上)	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉県(特定健診との連携に関する自治体の情報提供)</li> <li>・埼玉県医師会、郡市医師会</li> <li>・4市2町(がん検診主管課)</li> </ul>			
取組の内容			
<p>■事前調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉県と連携し特定健診とがん検診の連携に前向きな自治体に対し、事業の実施調整を行った。併せて埼玉県医師会、郡市医師会との事業調整も行っている。</li> <li>・平成30年度は各種がん検診との同時実施を2市2町、婦人科を含めたがん検診との同時実施を1市と行い、令和元年度は、婦人科がん検診との同時実施が1市増加した。その他、特定健診のみ受診できる集団健診を県内全域で開催した。(下図参照)</li> <li>・令和2年度は同時実施は8市町に拡大し11会場、特定健診会場は県内全域で110会場で実施予定。</li> </ul>			
		<b>期間・実施回数</b>	<b>実施地域</b>
特定健診のみ	平成30年度：93回 令和元年度：62回	埼玉県全域	
特定健診 +がん検診	平成30年度：8回 令和元年度：8回	A市・B町 C市・D町	
特定健診 +がん検診 +婦人がん検診	平成30年度：5回 令和元年度：5回	E市	
特定健診 +婦人がん検診	令和元年度：1回	F市	
<p>■対象者への受診勧奨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協会けんぽ加入の特定健診未受診被扶養者(40歳以上)に対し、ダイレクトメールを送付し申し込みを受け付け。市町と協会けんぽ埼玉支部で覚書を締結し、申し込み者情報を共有のうえ(双方から)受診申込者に対して健(検)診当日の案内を行っている。</li> <li>・令和2年の申し込みは15,000人を超える状況であり、ニーズは拡大している。</li> </ul>			

コロナウイルスの影響

- ・令和元年度は、16会場で健診の実施を中止とした。申込者1,799人に影響があった。
- ・令和2年度は、感染予防対策を徹底し、実施する予定。

取組の成果

・平成30年度から継続して合同集団健診を実施した5自治体では、前立腺がん検診件数を除く全ての検診で令和元年度に受診者数が増加した。4自治体では、受診率が4.0ポイント以上、上昇した。(下図参照)

	地域	受診率		肺がん 検診件数		胃がん 検診件数		大腸がん 検診件数		前立腺がん 検診件数		乳がん 検診件数		子宮頸がん 検診件数	
		H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1
特定健診 +がん検診	A市	4.76%	10.31%	94	205	32	71	76	247	3	7	-	-	-	-
	B町	6.50%	10.94%	45	74	35	44	46	82	3	1	-	-	-	-
	C市	3.62%	8.90%	40	77	27	60	41	86	0	0	-	-	-	-
	D町	6.75%	13.16%	38	84	35	50	37	72	-	-	-	-	-	-
特定健診 +がん検診 +婦人がん検診	E市	13.20%	9.97%	148	161	-	-	127	180	-	-	194	241	175	205
特定健 診+婦人がん検診	F市	-	11.87%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	77	-	55

事業名	重点目標	分野別の目標 1 がんの予防と早期発見の推進 2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進 8 節度ある飲酒と未成年者の飲酒防止
(I)第9回薬物乱用防止キャンペーン (II)第10回市民公開講座 (III)第8回政令市薬剤師会統一薬物乱用防止キャンペーン (IV)各区区民まつりブース参加	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得	
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり	
健康に関するさまざまな情報を整理し、正しい知識を持って頂くこと		
事業の対象者	単年度事業・継続事業	
一般市民、応募市民	継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
取組の内容		
新型コロナウイルス感染症の影響		
単年度・継続事業共に中止、延期となりました。 各店頭による健康づくりの啓蒙活動のみ実施しました。		
取組の成果		



事業名	重点目標	分野別の目標	5 積極的な身体活動と運動習慣の形成
レクリエーション活動を通じた健康・体力・仲間づくり	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消
事業の目標			
加盟18団体がそれぞれの活動を通して健康増進を図るとともに仲間との絆を深める。	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
事業の対象者			単年度事業・継続事業
子ども～高齢者			継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
取組の内容			
<p>加盟団体がそれぞれ事業展開を行っていますが、コロナの影響で実施できない状況が続き活動がストップしている団体があります。ソーシャルディスタンスを維持しながらレクリエーション活動が続けるのはかなり難しいことです。今後、室内活動団体はどのように事業を進めていくかが課題となります。</p> <p>10月過ぎからは野外活動団体はそれなりに活動を再開するところも出てきています。サイクリングは個人で活動するのでコロナ禍の影響を受けにくい種目で自分の体力に挑戦するハーフセンチュリーラン(80km)は好評でした。また、さいたま市内の名所・旧跡を地図を頼りに走りクイズに答えるマップリーディングは地域資源の再発見につながります。コースを自分で決めて走ることで脳の活性化にもつながるサイクリングです。年1回の乗れない人の自転車教室、今回は人数制限して実施しました。この子達が自転車に乗る楽しみを味わい、交通ルールの遵守を実践してくれることを期待します。</p>			
			
<p>協会全体事業として「レクリエーションフェスティバル」を毎年開催していますが、今年度は中止となりました。年2回発行の広報誌は団体間の連携を深めています。今後はSNS等の活用も視野に入れ広報活動に力を入れていきます。</p>			
<p>新型コロナウイルス感染症の影響</p>			
<p>室内競技団体は施設利用が多く、コロナ禍で使用禁止の施設が続出し活動できない状況が続いています。</p>			
取組の成果			
<p>コロナ禍のストレス解消には体を動かすことが一番です。活動のできない団体は個々のトレーニングや役員研修等を行い、コロナ解禁に向けて準備を進めています。一方、野外活動団体は細々ながら活動を開始し、今まで以上に笑顔に満ち溢れていました。</p>			

事業名	重点目標	分野別の目標	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進
在宅保健師等による支援事業	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上
事業の目標			4 1日3食バランスのとれた食生活の推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導の利用率向上</li> <li>・食生活の改善や運動の習慣化による生活習慣病予防</li> </ul>			
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
さいたま市民	単年度事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
埼玉県在宅保健活動者の会「青空会」			
取組の内容			
<p>埼玉県在宅保健活動者の会「青空会」の会員(保健師)を派遣し、さいたま市が行う保健事業の円滑な実施を支援した。具体的な内容は下記のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 特定健診・特定保健指導に関する事業</li> <li>2 健康教室等での助言及び指導に関する事業</li> <li>3 健康まつり等での健康啓発に関する事業</li> </ol>			
新型コロナウイルス感染症の影響			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度は9区から支援希望があったが、大宮区・中央区・浦和区・緑区・岩槻区について事業自体が中止となり、支援中止の申し出があったため支援中止とした。</li> <li>・北区について、健康教室等の支援を予定していたが、参加者が少ないことが見込まれるため、健康啓発等の支援へ内容を変更した。</li> <li>・南区について、特定保健指導の受講勧奨を予定していたが、対象者の減少が見込まれることから、支援日数を減らした。</li> </ul>			
取組の成果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験豊富な会員が電話による特定保健指導の利用勧奨を行うことにより、対象者の意識の向上へと繋がった。</li> <li>・マンパワーの提供により、スムーズな健康教室等の運営及び健康啓発の支援ができた。</li> </ul>			

事業名	重点目標	分 野 別 の 目 標	1 がんの予防と早期発見の推進
JAの総合事業機能を活かした健康づくり	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進
事業の目標			
健康づくりに係るイベントを実施し 地元住民・役職員等の健康の保持増進を図る	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
組合員・女性部員・年金友の会会員・共済友の会会員・地域住民・JAさいたま役職員	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
埼玉県農協健康保険組合、JA埼玉県中央会、新久喜総合病院、熊谷総合病院等			
取組の内容			
<p>①定期健康診断(役職員・パート)</p> <p>②被扶養者特定健診(40歳以上の被扶養者)</p> <p>③産業医による個別健康教育(定期健診によりハイリスク者と診断された役職員)</p> <p>④インフルエンザ予防接種(役職員希望者)</p> <p>⑤農業従事者検診(正組合員・女性部員)</p> <p>⑥生活習慣病検診(共済友の会会員)</p> <p>⑦女性のための健康講座(女性部)</p> <p>⑧人間ドック受診費用の助成(40歳以上の健保加入者と、35歳・38歳の被保険者)</p> <p>⑨PCR検査費用のJA全額負担(役職員)</p>			
新型コロナウイルス感染症の影響			
予定されていた健康増進活動がすべて中止となってしまった			
取組の成果			
<p>○インフルエンザ予防接種を組合の支店で実施することにより、受診率の向上に繋がりました。</p> <p>○健康診断結果を基に役職員に対し産業医面談を行い、健診結果の説明を行い、自身の健康状態を認識することにより、早期の疾病対策を図ることが出来ました。</p>			



事業名	重点目標	分野別の目標	2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進
・母子の健康と育児に関する事業(子育て支援事業)	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		4 1日3食バランスのとれた食生活の推進
・高齢社会に対する声掛け・見守り事業			5 積極的な身体活動と運動習慣の形成
・さいたま市への保健事業協力	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		7 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標			
スローガン			
1. 愛の一声、健康づくりを広めましょう			
2. 健やかな子を育て、明るい家庭づくりを広めましょう			
3. 住みよいふるさと、長寿社会づくりを広めましょう			
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
各区の母子・高齢者・地域住民	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
保健所・各区保健センター・健康づくり事情団・社会福祉協議会・自治協力会			
取組の内容			
地域の母子保健と高齢者福祉の向上、地域住民の健康推進活動を目的に、4区5地区で活動している。			
全体研修			
1. 実技講習会「椅子を介してのストレッチー動きやすい体作り」 指導 小島 眞理子氏			
地区自主事業			
・子育て支援事業 三世代交流 訪問活動 赤ちゃんの健全な発育のための検診の推奨と親子の孤立防止等の子育て支援教室の開催			
・高齢者やひとり暮らしのかたへの支援 声掛け ふれあい会食 介護予防体操 健康体操 おしゃべりサロン			
・結核予防パンフレットの配布			
・禁煙の推奨 周辺での喫煙に対し、身体への悪影響などを説明して、禁煙協力を呼び掛ける。			
行政協力・協働事業			
・各区の保健事業への協力 育児相談 ふたごの集い 親子教室 育児学級 生活習慣病予防教室			
新型コロナウイルス感染症の影響			
各地区で例年実施していた行事・イベント等の殆どが中止となってしまった。 公民館等の利用制限により、規模の縮小を余儀なくしたり、企画しても開催できない状態が見られた。			
取組の成果			
子育て支援について、親子支援活動や三世代交流事業を行うことで、孤立しがちな子育ての中で、母親や父親が悩みを解決できたり、地域との繋がりきっかけになる成果は得られなかった。 健康づくりについて、各地区の課題を少しでも解消しているよう、研修で得た知識を活用して班員たちが自主的に取り組む活動の中で、参加者の健康意識が高まり、明るい家庭づくりに貢献出来なかった。			

事業名	重点目標	分野別の目標	6 睡眠と休養の確保、ストレスの解消
サロンはな	Ⅱ 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
事業の目標			
地域住民及び高齢者の憩いの場と健康維持の場所			
事業の対象者			単年度事業・継続事業
一人暮らし高齢者や地域内の住民			継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
介護付き有料老人ホームソナーレ浦和、シニアサポートセンター尚和園、東部地区民生委員			
取組の内容			
地域内の一人暮らしの高齢者や自発的に参加される方々を募り、「おしゃべり広場」と称し、思いのままに話したり、聞いたり、簡単な体操を音楽にのせ体を動かします。また、脳トレで記憶力等の頭を使うことを心掛けて、楽しくも笑いのある癒しの場としています。			
新型コロナウイルス感染症の影響			
平成30年9月からスタートし、平成2年2月まで活動しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年3月から中止しています。			
取組の成果			
徐々に参加者も増えつつある中、コロナで中止が続き残念です。また、提供場所がソナーレ浦和の施設なので、今後継続も心配です。活動が再開されれば、声を出したり、体を動かしたり、頭を使うこと、また手品の披露があったりと楽しみの場となります。			

事業名	重点目標	分野別の目標	1 がんの予防と早期発見の推進
2020年度さいたま市成人保健事業	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		2 循環器疾患・糖尿病の予防と早期発見・早期治療の推進
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
各種がん検診・特定健診を通して、疾病の早期発見と治療開始に努め、メタボリックシンドローム該当者に対して特定保健指導を実施し、疾病の重症化予防を推進する			
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
さいたま市民	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
さいたま市4医師会、さいたま市国民健康保険課、年金医療課、さいたま市保健所地域保健支援課			
取組の内容			
<p>1. 女性のヘルスチェック(2021年3月31日時点で18歳～39歳の女性)</p> <p>2. 前立腺がん検診(2021年3月31日時点で50歳～80歳の男性。前年度未受診の方)</p> <p>3. 肝炎ウイルス検診(2021年3月31日時点で40歳以上で、前年度以前に検診を受けたことのない方)</p> <p>4. 骨粗しょう症健診(2021年3月31日時点で40歳、45歳及び50歳～80歳の女性で、50歳以上は前年度未受診の方)</p> <p>5. 胃がん検診(2021年3月31日時点で40歳以上の方)</p> <p>6. 大腸がん検診(2021年3月31日時点で40歳以上の方)</p> <p>7. 肺がん・結核検診(2021年3月31日時点で40歳以上の方)</p> <p>8. 乳がん検診(2021年3月31日時点で40歳以上の女性で前年度未受診の方)</p> <p>9. 子宮がん検診(2021年3月31日時点で20歳以上の女性、40歳以上は前年度未受診の方、子宮体がん検診は40歳以上の方)</p> <p>10. 特定健診</p> <p>1)さいたま市国保特定健診(さいたま市国民健康保険に加入している本人、家族で2021年3月末現在で40歳～74歳の方)</p> <p>2)後期高齢者健診(さいたま市在住で75歳以上の者および心身障害者で65～74歳で後期高齢者医療制度に加入している方)</p> <p>3)さいたま市国保健診(さいたま市国民健康保険に加入している本人、家族で2021年3月末現在で35歳～39歳の男性)</p> <p>11. 特定保健指導(動機付け支援) メタボリックシンドローム該当者 健診結果説明時に実施。</p> <p>12. 生活習慣病重症化予防プログラムにより、糖尿病未受診者・受診中断者に対する受診勧奨により受診率の向上につながり、また、保健指導の実施により腎機能低下速度の遅延に繋がった。</p>			
新型コロナウイルス感染症の影響			
新型コロナウイルス感染症の拡大による非常事態宣言が発せられ、特定健診がん検診等の開始が遅れ、受診に影響が出ている			
取組の成果			
<p>上記2,5,6,7では早期発見から早期治療に繋がり、延命に貢献した。11では、保健指導を実施することにより、対象者の体重、BMIに改善を認め、腹囲役会時期の遅延に繋がった。健診・検診未受診者への受診勧奨により受診率がやや向上した。</p>			

事業名	重点目標	分野別の目標	1 がんの予防と早期発見の推進
①市民フォーラム ②口腔がん検診 ③市民公開講座	I 若い世代から、健康づくりを意識した生活スタイルの獲得		3 生涯を通じた歯と口腔の健康の維持・向上
事業の目標	II 地域の環境や社会資源を活用した健康づくり		
①③さいたま市民が口腔の健康について学ぶことができる。 ②市民に検診を受け、早期発見を図ることで早期に治療をうながす。			
事業の対象者	単年度事業・継続事業		
さいたま市民	継続事業		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
与野歯科医師会、東京歯科大学口腔外科、大宮歯科医師会、明海大学歯学部口腔外科			
取組の内容			
1:市民フォーラム(与野歯科医師会)・・・中止 2:口腔がん検診(大宮歯科医師会)・・・令和3年3月実施予定 3:市民公開講座(大宮歯科医師会)・・・中止1回、令和3年3月実施予定			
新型コロナウイルス感染症の影響			
市民フォーラムや講座が中止になっている。			
取組の成果			
毎年継続している事業であり、今後も市民に口腔の健康について啓発を行っていくことが重要だと考えております。			